

第15回 東京大学 生命科学シンポジウム

趣 意 書

会期：平成27年6月27日（土）
会場：東京大学 武田先端知ビル
共催：東京大学

第15回 東京大学 生命科学シンポジウム
実行委員長 高井 まどか
副実行委員長 酒井 康行
津本 浩平

謹啓

時下、皆様にはおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、東京大学本郷キャンパスで毎年開催されます生命科学シンポジウムも今年で 15 回となり、幸いなことに全学的行事として内外に定着し、安定して 900～1000 名の参加者を得ております。ここでは毎年、東京大学の多様かつ最新の研究成果を学生や市民の方々にわかりやすく講演するとともに、学内の学生や若手研究者から 300 件程度のポスター発表がなされます。今年も東京大学との共催で 6 月 27 日(土)に武田先端知ビルにおいて 8 部局からの講演と、多数のポスター発表が行われる見通しです。

そこで、本シンポジウムの開催に当たりまして、何らかの形で皆様からのご協賛をお願いできないかと考えております。シンポジウム開催当初からしばらくは大学本部からの運営費がそれなりに手当てをされておりましたが、ネットワークの事務運営が本部から切り離された 5 年前から、一層の自助努力を求められるようになってきております。ネットワークメンバーが中心となり出版してきた生命科学教科書シリーズの印税も運営費に充てて参りましたが、3 年前からはネットワーク参加の 17 部局に分担金をお願いし、皆様方にご協賛を頂いて開催して参りました。

このような状況から、自己採算だけでは円滑な運営に困難を来すことが予想され、やむなく皆様からの協賛金や広告（要旨集および Web サイト）でのご支援をお願いする次第でございます。

諸事ご多用の折、誠に恐縮でございますが、本シンポジウムの趣旨にご賛同いただき、ご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

2015 年 3 月吉日

第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム
実行委員長 高井 まどか
副実行委員長 酒井 康行
津本 浩平

- 会議名称 : 第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム
- 会 期 : 平成 27 年 6 月 27 日 (土)
- 会 場 : 東京大学 武田先端知ビル
- 参加者数 : 900名
- 実行委員長: 高井 まどか (東京大学大学院工学系研究科・教授)
- シンポジウム開催計画の概要:
 - 各学部より選出された新進気鋭の研究者による公開シンポジウム
 - 東京大学の医工連携・産学連携推進の取り組みを紹介する特別企画
 - 大学院生を中心としたポスター発表
- シンポジウム事務局:
 - 第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局
 - 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部内 生命科学ネットワーク
 - TEL: 03-5465-8974, FAX: 03-5465-8838
 - E-mail: info@lsn.u-tokyo.ac.jp

 - 第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム 協賛・広告担当
 - 東京大学大学院工学系研究科兼担 酒井康行 (生産技術研究所)
 - TEL: 03-5452-6352, FAX: 03-5452-6353
 - E-mail: sakaiyas@iis.u-tokyo.ac.jp

以下、募集要項、申込み用紙、昨年のシンポジウムの様子等の参考資料を添付致します。

- 第 15 回シンポジウムプログラム (予定)
- 協賛金および広告 (要旨集・Web サイト) 募集要項
- 協賛金申込書 (書式 1)
- 要旨集広告申込書 (書式 2)
- Web サイト広告申込書 (書式 3)
- 第 14 回シンポジウムの報告

第15回 生命科学ネットワークシンポジウムプログラム

- 講演第1部 座長：酒井康行
9:15-9:20 開会挨拶 保立和夫 東京大学理事・副学長
9:20-9:50 生産技術研究所 佐藤 文俊 教授
「量子分子生物学 春秋に富む」
9:50-10:20 新領域創成科学研究科 菅野 純夫 教授
「次世代シーケンサーが開く新しい世界：
がん細胞の1細胞解析」
10:20-10:50 教育学研究科 森田 賢治 講師
「価値に基づく学習と意思決定：脳機構の解明及びその社会への還元に向けて」
10:50-11:20 理学系研究科 黒田 真也 教授
「インスリン作用のシステム生物学」

11:20-11:30 休憩
11:30-12:30 ポスターセッション 1
12:30-13:30 昼食
13:30-14:30 ポスターセッション 2
14:30-14:40 休憩

講演第2部 座長：津本浩平
14:40-15:10 医科学研究所 醍醐 弥太郎 特任教授
「トランスレーショナルリサーチによるがん治療薬開発」
15:10-15:40 薬学系研究科 池谷 裕二 教授
「脳の限界に挑む」
15:40-16:10 情報理工学系研究科 中村 仁彦 教授
「からだと脳のシミュレーション」
16:10-16:40 大気海洋研究所 伊藤 進一 教授
「大海原を泳ぐ魚の回遊とそのモデリング」

16:40-16:50 休憩

16:50-17:25 TR機構 加藤 益弘 特任教授
「TR機構のご紹介：先生方の研究成果を
医療革新へと繋ぎます」
工学系研究科 高井 まどか 教授
「バイオエンジニアリング専攻が目指す
新たな医⇄工教育と医療産業創出への貢献」

17:25-17:30 閉会挨拶 福田裕穂 東京大学生命科学ネットワーク長
17:30-19:30 懇談会、ポスター表彰

協賛金 募集要項

- 会議名称 : 第15回 東京大学 生命科学シンポジウム
- 募集期間 : 平成27年4月1日(水)～6月12日(金)
- 協賛金使途 : 講演要旨集、ポスター、及び、会場設営に充当する。
- 申込方法 :
別紙、協賛金申込書(書式1)にご記入の上、下記、事務局宛にFAXもしくはメールにてお申し込み下さい。協賛金申し込み受領後、当方から寄付案内をお送りいたします。
- 法人からのご寄附の場合 :
法人が行った寄附のうち、指定寄附金(※)については、その金額を損金算入することができます。
※国立大学法人の業務に対する寄附金など、財務大臣が指定した寄附金
- 送付先 : 第15回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当
〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所・第4部
酒井康行
TEL: 03-5452-6352, FAX: 03-5452-6353
E-mail: sakaiyas@iis.u-tokyo.ac.jp
- お振り込み先 :
申し込み後、お振り込みに関する書類を送付いたします。案内に従いお振り込み下さい。お振り込み確認後、領収書を発行いたします。
- 問い合わせ先 :
第15回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当
〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所・第4部
TEL: (前掲)
FAX: (前掲)
E-mail: (前掲)

広告 募集要項

■ 収支予算案

収入の部

項目	備考	金額
昨年度繰越		¥ 2,000,000
広告収入(Web ページ)	バナー 1ブロック 5万円×6	¥ 300,000
	要旨検索サイト1ブロック 5万円×6	¥ 300,000
広告掲載費	要旨集(10社、A4全面 5万×5、 A4ハーフ 2万5千円×6)	¥ 400,000
協賛金	一口 5万円×10	¥ 500,000
合計		¥ 3,500,000

支出の部

項目	備考	金額
会場使用料	武田先端知ビル	¥ 500,000
要旨集印刷費	20 ページ、1000 部	¥ 300,000
ポスター作成	A2, 100 枚	¥ 60,000
Web サイト作成		¥ 400,000
サーバー管理	要旨受付、サーバーメンテ等	¥ 290,000
会場設営	ポスターパネル、立て看板、設営費等	¥ 1,950,000
合計		¥ 3,500,000

広告掲載 募集要項 (要旨集)

- 誌名 : 第15回 東京大学 生命科学シンポジウム
講演要旨集

(ポスター発表の要旨は含まない)

- 部数・判型 : 1000部 A4版

- 広告料 : A4 1ページ (単色) ¥ 50,000
 A4 半分 (単色) ¥ 25,000

- サイズ : 1ページ 版面 天地 267mm 左右 180mm
半分 版面 天地 130mm 左右 180mm

- 申込方法 :

別紙、広告申込書(書式3)にご記入の上、下記、事務局宛にFAXもしくはメールにてお申し込み下さい。

- 申込期日 : 締切日・・・平成27年6月5日(金)

- データ送付 : 締切日・・・平成27年6月12日(金)
(詳細は次ページ、要旨集 広告制作上の注意をご覧ください。)

- 広告申込・データ送付先(問い合わせ先):

第15回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当
酒井 康行

TEL: 03-5452-6352, FAX: 03-5452-6353

E-mail: sakaiyas@iis.u-tokyo.ac.jp

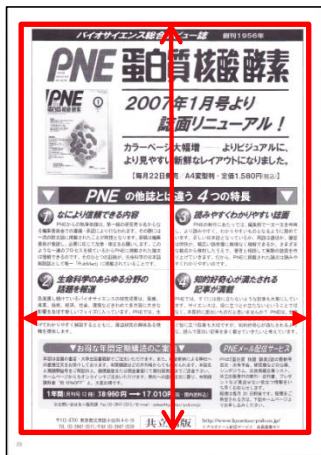
- お振り込み先:

協賛金申込書受領後、当方から寄付案内をお送り致します。案内に従ってお振り込み下さい。

要旨集への広告掲載

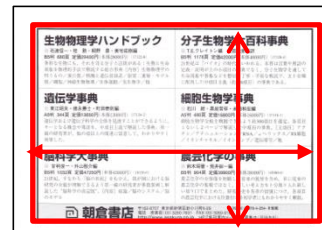
- 広告は1Pと1/2Pの2種あります。

1 P の 場 合



版面：天地 267 ミリ
左右 180 ミリ

1/2 P の 場 合



版面：天地 130 ミリ
左右 180 ミリ

◆ご用意いただくもの

- 印刷データ
- 版面：267 ミリ×180 ミリ
- モノクロで制作してください。
- データはイラストレータ
(文字アウトライン済み)、
もしくはインデザイン
もしくはPDFをお願いします。
- それ以外の場合はご相談下さい。
- 紙焼でいただくことも可能です。

◆ご用意いただくもの

- 印刷データ
- 版面：130 ミリ×180 ミリ
- モノクロで制作してください。
- データはイラストレータ
(文字アウトライン済み)、
もしくはインデザイン
もしくはPDFをお願いします。
- それ以外の場合はご相談下さい。
- 紙焼でいただくことも可能です。

広告掲載 募集要項 (Web サイト)

■ Web ページ : 第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム

<http://www.todaibio.info>

■ 広告料	: <input type="checkbox"/> トップページ	1 ブロック分	¥50,000
		2 ブロック分	¥100,000
	<input type="checkbox"/> 要旨検索結果画面	1 ブロック分	¥50,000
		2 ブロック分	¥100,000

■ サイズ : 1 ブロック 218×60 ピクセル
2 ブロック 446×60 ピクセル

■ 申込方法 :

別紙、広告申込書 (書式 2) にご記入の上、下記、事務局宛に FAX もしくはメールにてお申し込み下さい。

■ 申込期日 : 締切日・・・平成 27 年 6 月 5 日 (金)

■ 送付 : 締切日・・・平成 27 年 6 月 12 日 (金)

(詳細は次ページ、HP 広告制作上の注意をご覧ください。)

なお、ページ割については実行委員長にご一任頂きますようお願い申し上げます。

■ 広告申込・版下送付先 (問い合わせ先):

第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当 酒井康行

TEL: 03-5452-6352, FAX: 03-5452-6353

E-mail: sakaiyas@iis.u-tokyo.ac.jp

■ お振り込み先:

協賛金申込書受領後、当方から寄付案内をお送り致します。案内に従ってお振り込み下さい。

■ ウェブサイト 広告制作上の注意

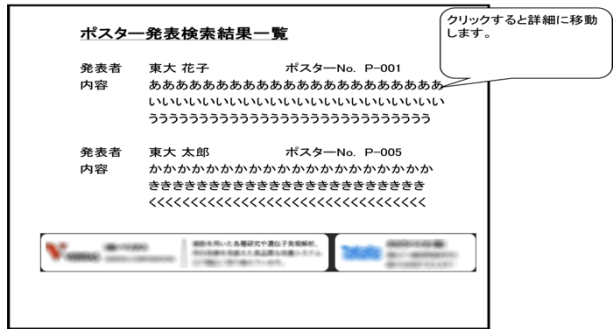
<http://www.todaibio.info>



公式ウェブサイトへのバナー掲載

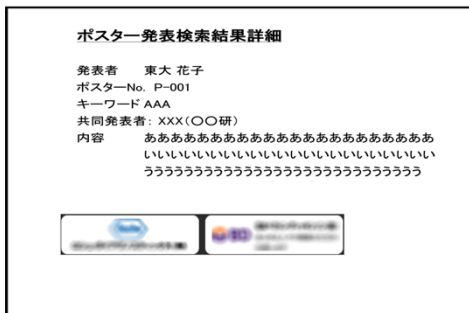
- <http://www.todaibio.info> のトップページに御社のバナーを掲載。
- ご希望のページとリンクを張ります。
- 掲載スペースは2通りあります。

検索結果



クリックすると詳細に移動します。

検索結果詳細



広告効果の高いポスター発表検索画面

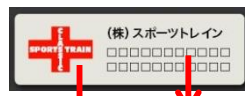
- ポスター要旨は冊子を作成しておりません。参加者は検索結果を各自プリントアウトし持参する予定です。従って、より広告効果が高いと思われます。

2 ブロックの場合



ロゴ 社名 コピー

1 ブロックの場合



ロゴ 社名+コピー

◆ご用意いただくもの

- ロゴデータ (カラー: RGB)
- 社名日本語表記
- 社名英語表記
- コピー (19文字×3行=57文字)
- リンク先のアドレス

◆ご用意いただくもの

- ロゴデータ (カラー: RGB)
- 社名日本語表記
- コピー (11文字×2行=22文字)
- リンク先のアドレス

FAX 送信先：
事務局 宛

書式 1

第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム

協賛金申込書

第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム
実行委員長 高井 まどか（東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻）殿

趣旨に賛同し、第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウムとして下記の通り協賛金を寄付いたします。

金 円也

貴社名： _____

ご所属： _____

責任者氏名： _____

御担当者名： _____

〒
住所： _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

事務局：

第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム 事務局

協賛・広告担当： 酒井 康行

TEL: 03-5452-6352, FAX: 03-5452-6353

E-mail: sakaiyas@iis.u-tokyo.ac.jp

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所・第 4 部

FAX 送信先：
事務局 宛

書式2

第15回 東京大学 生命科学シンポジウム

要旨集 広告申込書

本大会への広告申込について、下記のいずれかに印をつけ FAX にてご返送下さい。

申し込む 申し込まない

「第15回 東京大学 生命科学シンポジウム 講演要旨集」への広告を下記の通り申し込みます。

■ スペース（該当箇所に印を付けて下さい）

- A4 1 ページ（モノクロ） ￥ 50,000
 A4 半分（モノクロ） ￥ 25,000

貴社名： _____

ご所属： _____

御担当者名： _____

〒
住所： _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

版下送付予定日：平成 年 月 日頃 事務局まで送付します。

事務局：

第15回 東京大学 生命科学シンポジウム 事務局

協賛・広告担当： 酒井 康行

TEL: 03-5452-6352, FAX: 03-5452-6353

E-mail: sakaiyas@iis.u-tokyo.ac.jp

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所・第4部

FAX 送信先：
事務局 宛

書式 3

第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム

Web サイト 広告申込書

本大会への広告申込について、下記のいずれかに印をつけ FAX にてご返送下さい。

申し込む 申し込まない

「第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム Web サイト」への広告を下記の通り申し込みます。

■ スペース（該当箇所に印を付けて下さい）

- | | | |
|-----------------------------------|---------|---------|
| <input type="checkbox"/> トップページ | 1 ブロック分 | ¥50,000 |
| <input type="checkbox"/> 要旨検索結果画面 | 1 ブロック分 | ¥50,000 |

貴社名： _____

ご所属： _____

御担当者名： _____

〒
住所： _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

版下送付予定日：平成 年 月 日頃 事務局まで送付します。

事務局：

第 15 回 東京大学 生命科学シンポジウム 事務局

協賛・広告担当： 酒井 康行

TEL: 03-5452-6352, FAX: 03-5452-6353

E-mail: sakaiyas@iis.u-tokyo.ac.jp

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所・第 4 部

第14回開催報告

平成26年4月26日(土)、伊藤国際学術研究センターおよび小島ホールにて、第14回東京大学生命科学シンポジウムが開催されました。今年は例年よりも早い4月の開催となりましたが、中学生から60歳以上の方まで、一般の方から学内外の研究者をあわせておよそ700名の参加があり大変盛況なシンポジウムとなりました。

講演の部は宮園浩平生命科学ネットワーク長・医学系研究科長の挨拶に始まりました。今年度のシンポジウム講演は、若手の先生方に最先端の研究成果を発表していただくことを趣旨とし、生命科学ネットワークの17部局のうち8部局より新進気鋭の若手教授・准教授陣にご講演いただきました。講演内容は産婦人科や人工関節、脳死などの身近な医療に関わる話題から小鳥のさえずりの話まで、核酸やホルモンなどのミクロの話から研究倫理・法律の話まで、と非常に多岐に渡っており、参加者からは「色々な研究部門の話が聞けた」、「各分野の最先端のお話を伺えて楽しかった」などの声が多く寄せられました。各講演では聴衆から積極的に質問が寄せられ、活発な議論が展開されました。参加者アンケートでは「生命科学研究の広さに驚きました」、「講演内容がとても興味深かった」、「最先端の話題を一般に公開してくれて嬉しい」などの意見が寄せられ、東京大学でおこなわれている幅広い生命科学研究の面白さを一般の方々にも楽しんでいただけたように思います。

また、今年は新たな試みとしてシンポジウム講演の後に公開パネル討論の時間を設けました。テーマは「国際水準で活躍する研究者の養成」とし、いかにして東京大学がグローバルな研究者を育てることができるか、松本洋一郎理事・副学長ほか3名の先生方にご登壇いただき、ご意見を伺いました。このパネル討論会は大変盛り上がり、30分という短い時間でしたが、聴衆からも積極的にご意見、ご質問をいただきました。アンケートでも「パネル討論が興味深かった」、「先生方のご意見がすばらしかった」、「時間を増やして来年もおこなってほしい」などの意見が寄せられました。最後に、松本洋一郎理事・副学長の挨拶をもって、講演会・パネル討論会は大盛況のうちに終了致しました。

ポスター発表では、大学院生、博士研究員を中心に300題の演題が発表され、3会場はどこも大変熱気に溢れていました。至る所で熱心にディスカッションしている様子が見られ、研究分野や学部を越えた研究者間・学生間の交流を促すことができました。ポスター発表者からは「このシンポジウムで初めて、自分と同じ研究をしている他学部の学生と話すことができた」という意見も聞かれ、このような出会いが今後、共同研究などへと発展し、東京大学の生命科学の進展を一層加速してくれるものと期待されます。

午後5時30分からは、生協メトロ食堂にて懇談会が開催されました。優秀なポスター発表を行った発表者29名に、一人一人に宮園浩平生命科学ネットワーク長から表彰状と記念品が授与され、受賞者は顔をほころばせていました。懇談会では談笑も交えながら当日のポスター発表や講演、パネル討論についての率直な意見が交わされ、より良いシンポジウムを作るにはどうしたらよいか、学内の異分野間の交流を活発にするためにこのシンポジウムを活用しよう、などの意見が交わされました。

アンケートでは、回答者の約77%と多くの方々から「次回もシンポジウムの企画を希望する」との回答をいただき、学内外の多くの方々にも満足していただけたようです。本シンポジウムが生命科学研究者間の横断的な交流や、学生の進路選択、一般の方々に関心を持っていただく場として一助になることができたのではないかと感じています。

最後に、ご講演いただいた講演者の皆様、座長の労をお取りいただいた先生方、ポスター審査員の先生方、パネル討論会にご登壇頂いた先生方、シンポジウム開催にご協力いただいた薬学系研究科微生物薬品化学教室および細胞情報学教室の皆様に深謝いたします。

<ポスター賞受賞者(五十音順)>

阿部 陽平(先端)、石井 雅樹(薬)、今町 直登(薬)、岩田 容子(大気)、岩間 亮(農)、上野 真吾(工)、大島 大輔(医科研)、大橋 翼(総文)、鎌田 宏幸(工)、Kim Dongmin(工)、熊崎 薫(理)、工藤 慧(生物生産)、小八重 善裕(農)、佐伯 亘平(農)、篠原 満利恵(生産研)、杉田 亮平(農)、高井 弘基(分生研)、刀川 夏詩子(農)、豊岡 博子(理)、中村 彰彦(農)、橋本 拓磨(理)、橋本 芳史(医科研)、長谷川 寛将(生産研)、長谷川 森雄(薬)、前田 海成(総文)、三浦 友樹(薬)、村山 秀之(医科研)、和田 英治(総文)、山守 優(分生研) 以上、29名



ポスター会場では熱心な議論が交わされました。



パネル討論会の様子



宮園浩平ネットワーク長、関水 和久シンポジウム実行委員長と優秀ポスター賞受賞者の皆さん